

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 様



設立: 1963年(昭和38年)
本社所在地: 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
事業内容: 北海道を主な販売地域として、飲料の製造及び販売
HPアドレス: <https://www.hokkaido.ccbc.co.jp>

リチウムイオンバッテリー搭載車を導入し、環境・作業負荷の軽減を実現。

北海道内で清涼飲料の製造・販売、及びそれらの付帯事業を行っている北海道コカ・コーラグループ様は、CO₂削減に向け、電動化を推進しています。札幌工場のフォークリフトはLPG車で、ポンベの脱着作業や排出ガスなどがオペレーターの負担になっていました。屋内用フォークリフトは電動車に切り替えましたが、屋外や長時間使用するフォークリフトは、従来の鉛バッテリー車ではパワーや稼働時間が足りず、電動化ができませんでした。トヨタL&Fは、バッテリー交換が不要で、急速充電により長時間の稼働が可能なgene Bのリチウムイオンバッテリー搭載車を提案。寒さ対策として「キャビン仕様」に、また、悪路走行時の荷崩れを防ぐ「ロードスタビライザー仕様」とし、今回の導入に至りました。gene Bのリチウムイオンバッテリー搭載車は、従来車と比べ充電時間が短く、充電は作業の合間に行えるため、LPG車と遜色のない稼働が可能です。導入効果は、LPG車では必要だったポンベ交換作業が不要になり、作業負荷が軽減され、倉庫内での排出ガスもなく、安全性も確保できました。今後は、他の物流拠点のフォークリフトも段階的にリチウムイオンバッテリー搭載車に切り替える検討をされています。

導入商品

- リチウムイオンバッテリー搭載フォークリフト(車両連動タイプ)

導入効果

- 排出ガスが無く、騒音も低減され、クリーンで静かな作業環境を実現
- LPG車による作業者の負荷(ポンベの脱着作業・排出ガス)を軽減

アタッチメントやヒーターが必要な作業現場でもエンジン車と遜色ない機動力を発揮



荷を上からしっかり押さえて荷崩れ防止に貢献するロードスタビライザーを装備。凹凸のある屋外通路での確実な荷役作業に貢献します。



厳しい寒さや風雨などからオペレーターを守るキャビン进行を装備。足元にはヒーターも配し、快適に作業が行える環境を整えました。



充電状況はライトで確認可能

gene B側



完了 UP

待機 STANDBY

充電 CHARGE

エラー ERROR

充電器側

急速充電により、休憩時間中の補充電だけで連続稼働が可能です。車両右側の専用扉を開けて充電プラグを差し込めば自動で充電を開始します。

カーボンニュートラルの実現を目指してバッテリーをさらに使いやすく

リチウムイオンバッテリーフォークリフトの特長

- 高い環境性能や経済性、日々のメンテナンスが不要(※お客様の稼働状況により異なります)
- 車両連動ならではのうれしい機能

バッテリー交換不要

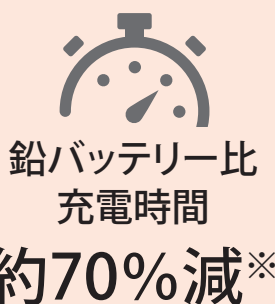
バッテリー補水が不要

電気代を低減

CO₂排出量低減



リチウムイオンバッテリー 専用バッテリーチャージャー(別置)



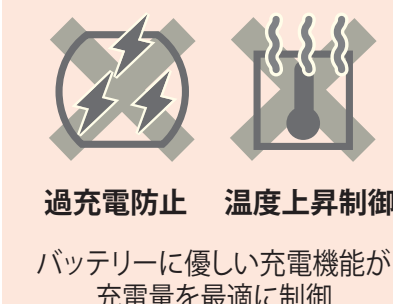
鉛バッテリー比
充電時間
約70%減※



鉛バッテリー比
約20%減※



環境負荷物質
ZERO



過充電防止 温度上昇制御
バッテリーに優しい充電機能が
充電量を最適に制御



車両性能制御
低/高温環境下やバッテリー残量に
応じて、適切に車両性能を制御



リチウムイオン
バッテリー
車両連動
タイプの紹介
動画はこちら